

産地として選ばれる“なのはな米” 1等比率95%以上を達成しよう！！

夏の高温に打ち勝ち、品質の高い米を生産する稲体づくりに向け、充実した太い茎に育てることが、重要です。次の作業をしっかりと行いましょう。

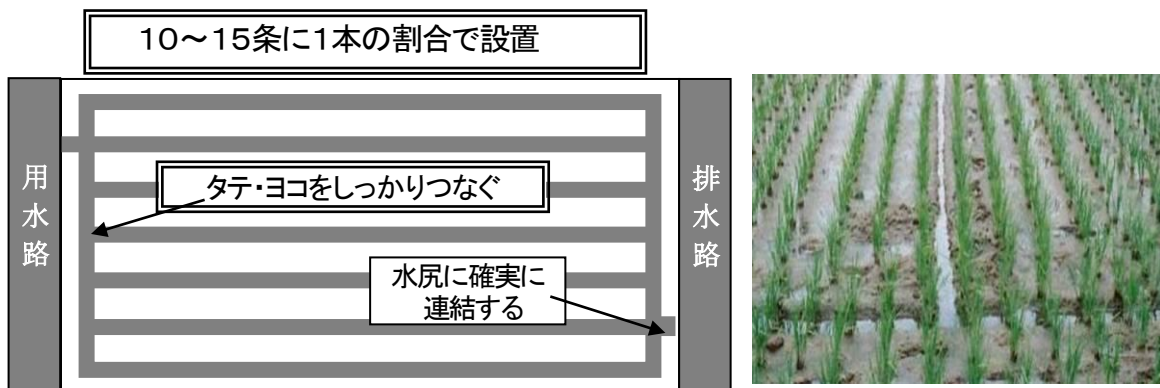
- ①中干しまでは『**浅水管理**』を徹底し、初期分げつを確保しましょう。
- ②中干しを効果的に行うため、『**溝掘り**』を確実に実施しましょう。
- ③田植後1か月頃を目安に『**中干し**』を開始し、無効となる分げつを抑えましょう。

中干しまでの水管理

- 中干しまでは、水深3cm程度の『**浅水管理**』を行い、初期生育を確保しましょう。
ただし、強風や低温時には5cm程度の深水にしましょう。
- 入水は朝か夕方に行い、日中は止水で田水温の上昇に努め、分げつの発生を促しましょう。
- 藻が発生している場合は、水の入れ換えを行きましょう。
また、田がわいている場合は、1～2日程度、軽い田干しを行きましょう

溝掘り

中干しや、その後の間断かん水を効果的に行うため、6月上旬までに必ず『溝掘り』を行きましょう。



<溝掘りのポイント>

- ・形が崩れないよう軽く田干しを行い、泥を固めた後、10～15条に1本の割合で溝を掘る。
- ・タテ溝とヨコ溝をしっかりとつなぎ、水尻は確実に連結する。

中干し

6月に入ると分げつが急激に増加します。**田植えの1か月後頃を目安に遅れず『中干し』**を開始しましょう。
また、出穂後20日間の湛水管理に備え、コンバイン作業の地耐力確保のため、この時期に確実に田面を固めましょう。

①中干し開始時期の目安

田植日	中干し開始時期
5月10日	6月10日頃
5月15日	6月14日頃
5月20日	6月18日頃

適切に中干しを実施すると…

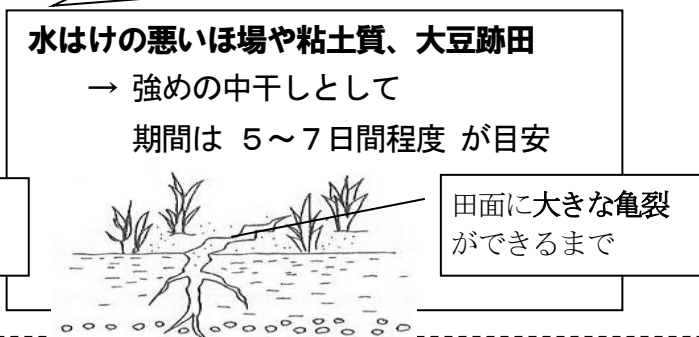
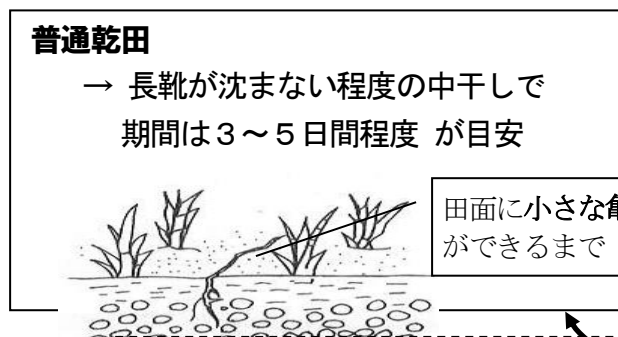
- ・葉が直立
- ・茎が太い
- ・根量が多い



②中干し程度

排水の悪いほ場では、事前に軽い田干しを行きましょう。

中干し終了時目安：ほ場中央部で、くるぶしまで沈む程度



干し過ぎると、稲の生育にダメージを与えます。数回に分けて適度に田干しを行きましょう！

裏面へ続く

中干し後の水管理

中干し後から幼穂形成期までは、湛水と落水を繰り返す『**間断かん水**』により、土壌硬度を足跡の深さ3cm程度に誘導しましょう。間断かん水で土中のうわ根をしっかりと伸ばしましょう。

珪酸質資材の施用

登熟を高めるため、珪酸質資材を施用しましょう。特に肥効調節型基肥の場合は、カリ成分が不足するのでこの追肥で補給して下さい。

施肥体系（使用基肥肥料）		肥料名	10a 当たり施用量	施用時期
分施	（なのはな有機基肥）	エスアイ加里特号	10～20kg	6月中旬～下旬
	（燐加安15号、基肥555）	太陽のめぐみ	20～40kg	
肥効調節型基肥 （なのはな一発基肥など）		エスアイ加里特号	20kg	
		BBPKケイ酸	20～40kg	

【お詫び】平成30年産稲作ごよみに記載されています10a当たりの本田肥料設計例では、太陽のめぐみの施用量が10～20kgになっておりますが、正しくは20～40kgの施用量になります。

後期除草剤の散布

○雑草が残った場合、雑草の葉齢を確認し、遅れずに散布しましょう。

また、除草剤の効果を高めるため、散布前に軽い田干しを行い、水の入替えを行ってから散布しましょう。

○除草剤散布の際には、周辺の作物に飛散しないよう注意しましょう。

除草剤使用基準（移植水稻の場合）

雑草の状況	除草剤名	散布量 10a当たり	散布時期	使用回数	使用上の注意
ノビエ が残った 場合	クリンチャー 1キロ粒剤	1kg	田植後7日～ ノビエ4葉期まで (収穫30日前まで)	2回 以内	<ul style="list-style-type: none"> 散布の際は、5cm程度の深水とし5日間は湛水状態を保つ 7日間は、落水・かけ流しをしない
		1.5kg	田植後25日～ ノビエ5葉期まで (収穫30日前まで)		
	ヒエクリーン 豆つぶ250	250g	田植後15日～ ノビエ3.5葉期まで (収穫45日前まで)	1回	<ul style="list-style-type: none"> 散布の際は、5cm以上の深水とし、水田周縁部に沿い散布する 散布後、5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水・かけ流しをしない
広葉雑草 が残った 場合	バサグラン粒剤	3～4kg	田植後15～50日 (収穫60日前まで)	1回	<ul style="list-style-type: none"> 雑草が露出する程度の浅水とし、晴天日を選んで散布する 散布後3～4日間は田に水を入れず、また降雨によって薬剤が流出しないよう水尻は必ず止めておく スポット散布も可
ノビエと 広葉雑草 が残った 場合	ワイドアタックD 1キロ粒剤	1kg	田植後20日～ ノビエ5葉期まで (稲4葉期以降、 収穫60日前まで)	1回	<ul style="list-style-type: none"> 散布後、5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させない 完全に枯死するまでに3週間以上を要することがある
	クリンチャー バスME液剤	1,000ml 希釈水量 70～100L	田植後15日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	2回 以内	<ul style="list-style-type: none"> 落水状態で雑草の茎葉に確実に付着するよう丁寧に散布する 散布後3～4日は入水、落水をしない

★なのはな農協では、皆様に電子メールによる営農情報の提供を行っています★

＜情報提供内容＞

- ・栽培管理情報
- ・緊急的な気象情報や災害防止対策、栽培管理等の情報
- ・その他必要と思われる情報

★営農情報提供サービスへの

登録はこちらから
(QRコードにスマホ等を
かざして必要な情報を
登録してください)

